P24-3

要保存 必ずお読みください。

サンコー株式会社

タイタン安全帯用ランヤード(ロープ式)

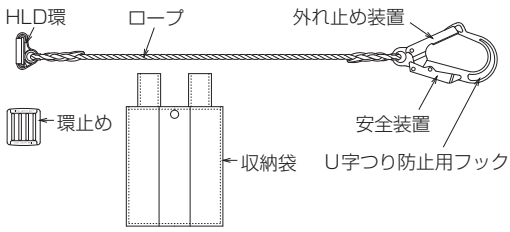
取扱説明書

(1本つり専用／セカンドロープ)

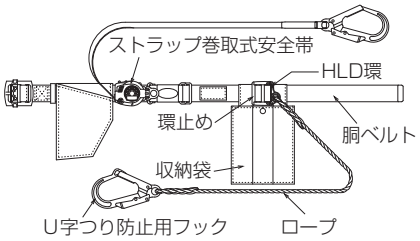
この度は、タイタン安全帯用ランヤード（ロープ式）をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この製品は、一般用安全帯でフック掛け替え時の墜落の危険を防止する為に使用していただく2本目のランヤード(セカンドロープ）です。長さは短めの設定になっておりますが、メインランヤードとしても使用できます。ランヤードの取扱、使用方法についてはこの取扱説明書を、その他についてはお使いの安全帯の取扱説明書をお読みいただき、内容をご理解ください。
特に ⚠警告・⚠注意の項目は、事故を未然に防ぐために厳守してください。あわせてこの取扱説明書は大切に保存していただき、紛失した場合にはサンコー(株)にご請求ください。

※本取扱説明書は、必ずご使用の安全帯の取扱説明書と併用してお使いください。

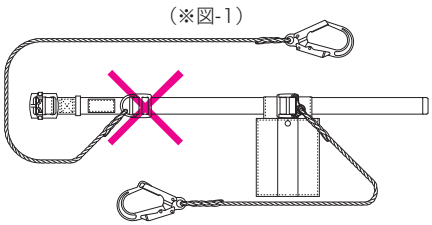
1. 各部の名称（図は一例を示す）



≪セットされた状態≫



（※図-1）



※上図の様なD環付安全帯には取付けないでください。

【標準品のランヤード長は、原則として1.2mに設定されております】

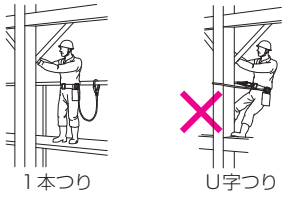
2. 使用条件

⚠警告 誤った使い方をしますと重大な事故につながりますので、必ず守ってください。

（1）作業者の墜落防止以外の目的で使用しない。
（2）本ランヤードをセカンドロープとして使用する場合は、弊社のストラップ巻取式安全帯及びダブルランヤード式安全帯などのU字つり状態にできない安全帯に取付ける。

⚠注意 安全にお使いいただくためにお守りください。

（1）本ランヤードは、必ずストラップ巻取式安全帯及びダブルランヤード式安全帯などの1本つり専用の安全帯に取付け、かつ、足場のある場所で使用する。
（2）U字つり等、体重をかける作業には使用しない。
（3）他社製の安全帯に取り付けて使用しない。
（4）使用者の体重が100kgを越える場合は、ショックアブソーバ付のランヤードを使用する。

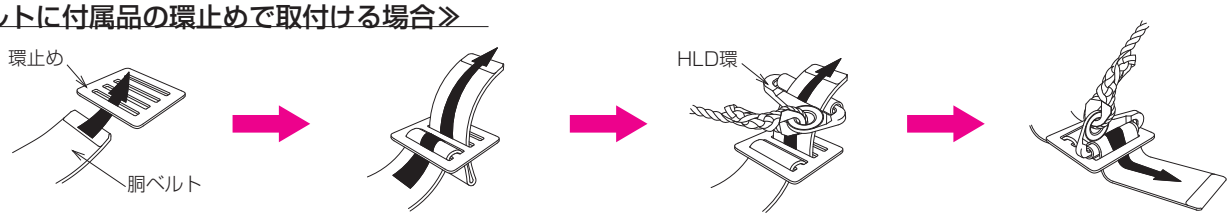


3. 使用前点検

（1）使用前に取扱説明書をよく読み、正しい使用方法を確認する。
（2）使用前に必ず、この取扱説明書の「7. 点検・廃棄」の内容に従って各部に異常がないか点検する。
（3）安全帯全般については、ご使用中の安全帯の「取扱説明書」に従って点検する。

4. 取付け方法

≪胴ベルトに付属品の環止めで取付ける場合≫



⚠警告 誤った使い方をしますと重大な事故につながりますので、必ず守ってください。

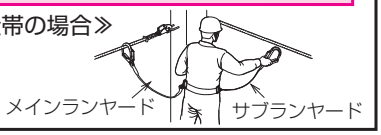
（1）ストラップ巻取式安全帯及びダブルランヤード式安全帯以外の安全帯に本ランヤードを取付けてはならない。
誤ってU字つり状態で使用するおそれがある。（※図－１参照）

5. 使用方法

⚠警告 誤った使い方をしますと重大な事故につながりますので、必ず守ってください。

（1）フックの掛け替えを行なう場合は、現在、取付けているメインランヤードのフックを外す前に、サブランヤード（セカンドロープ）のフックを胴ベルトより上部の取付け対象物に掛けてからメインランヤードのフックを外す。

≪ダブルランヤード式安全帯の場合≫



6. 保守・保管

（1）ロープの汚れは、ぬるま湯または中性洗剤を使って洗い、陰干しする。
（2）ロープに塗料等が付いた場合は、布などでふき取る。溶剤を使ってはならない。
（3）ロープが水などに濡れた場合は、屋内の常温で風通しのよい場所で自然乾燥させる。（強制乾燥は避ける）
（4）ランヤードは直射日光や火気・放熱体・腐食性物質を避け、屋内の風通しがよく清潔な場所に保管する。

7. 点検・廃棄

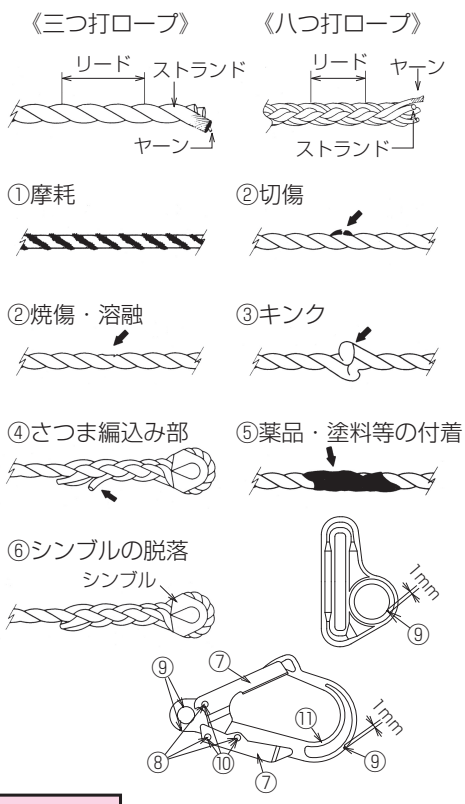
⚠警告 誤った使い方をしますと重大な事故につながりますので、必ず守ってください。

（1）ランヤードは使用前に必ず点検し、下記の点検チェックリストの廃棄基準に該当する部分があれば、廃棄するか、新品と取り替える。
（2）少なくとも1ヶ月に一度は、下記のチェックリストに従ってより詳細に点検を行なう。
（3）使用中にランヤードに異常があれば、ただちに使用を中止して再点検を行なう。
（4）一度でも大きな衝撃を受けたランヤードは、外観に変化がなくても廃棄する。
（5）安全帯全般については、安全帯の取扱説明書に従って点検する。

≪ランヤード点検チェックリスト≫

点検部分	点検項目	廃　棄　基　準	
ロープ	摩耗	摩耗して棒状になっているもの	①
	切傷・焼傷・溶融	1リード内に7ヤーン以上あるもの	②
	キンク	キンク(よじれてコブ状になること)しているもの	③
	さつま編込み部	抜けているもの／ゆるんでいるもの	④
	薬品・塗料等の付着	薬品が付着し変色したもの／塗料が付着し硬化したもの	⑤
	シンブル	脱落したもの	⑥
フック HLD環	変形・作動	変形が目視でわかるもの	
		フックの外れ止め装置及び安全装置の開閉作動の悪いもの	⑦
		フックのカシメ部にガタ・変形があるもの	⑧
	亀裂・摩滅・傷	1mm以上の亀裂があるもの	⑨
		フックのリベットが1/2以上摩滅しているもの	⑩
		フックのかぎ部の内側に少しでも傷のあるもの	⑪
	さび	全体にさびが発生しているもの	
	バネ	バネが折損・脱落しているもの／動きの悪いもの	
	薬品・塗料等の付着	可動部・バネ等に塗料等が付着し、動きの悪いもの	

（図は一例を示す）



8. 交換の目安

（1）使い方によって異なるが、使用開始から2年を交換の目安とする。
（2）「7. 点検・廃棄」の内容に従って点検を必ず実施し、廃棄基準に達したものは使用しないで、新品と取り替える。
（3）胴ベルトの裏側に取付けられた使用開始年月ラベルに、ランヤードを使用開始した年月を油性のペン等で必ず記入する。
※廃棄方法は、各自治体にお問い合わせください。

9. 各部の強さ

項　目		安全帯の規格	試験結果（※）
ランヤード	ロープ	15.0 kN以上	18.0 kN以上
	フック	11.5 kN以上	14.0 kN以上
	HLD環	11.5 kN以上	15.0 kN以上
衝撃吸収性及び強さ		破断しないこと。 衝撃値は、8.0 kN以下。	破断なし。 衝撃値は、8.0 kN以下。

※試験結果は新品時における社内試験値です。使用による摩耗、紫外線暴露などで経年劣化します。

10. お客様相談窓口

製品の使用方法等に関してご不明の点がありましたら、お買い上げの販売店または下記までお問い合わせください。
また、業務用途以外でお使いのお客様が、製品に起因する死亡や重大な怪我に至る事故にあわれたときは、お手数ですが下記までご連絡ください。これは改正消費生活用製品安全法の報告義務規定によるものです。

本社営業部　TEL：06 (6394) 3541 (代) FAX：06 (6395) 0041　東京支店営業部　TEL：03 (3352) 5404 (代) FAX：03 (3350) 5320

サンコー株式会社

本　　社	〒532-0033	大阪市淀川区新高1丁目14番7号	TEL:06 (6394) 3541 (代)	FAX:06 (6395) 0041
東京支店	〒160-0022	東京都新宿区新宿2丁目8番18号	TEL:03 (3352) 5404 (代)	FAX:03 (3350) 5320
名古屋営業所	〒456-0056	名古屋市熱田区三番町22番15号	TEL:052 (653) 5770	FAX:052 (653) 5810
九州営業所	〒814-0164	福岡市早良区賀茂4丁目6番28号	TEL:092 (873) 0392	FAX:092 (873) 0948
北海道営業所	〒003-0813	札幌市白石区菊水上町三条3丁目52番18-2	TEL:011 (832) 0145	FAX:011 (832) 7895
東北駐在所	〒980-0822	仙台市青葉区一番町1丁目12番地20-501	TEL:022 (797) 9860	FAX:022 (797) 9851

2014.10-3,000SW